

安心して海外旅行を楽しむために

ゴールデンウィークに海外旅行を予定されている方も多いと思います。海外では、日本で発生していない感染症や日本よりも高い頻度で発生している感染症があります。安心して旅行するためには、感染症に対する正しい知識と予防方法を身に付けることが大切です。

予防の point

○食べ物や水、氷を介した消化器系の感染症

【注意すべき病気】 A 型肝炎、赤痢、コレラ等

【症状】 発熱、下痢、倦怠感等

【予防方法】 十分に火の通った食べ物を食べる（生肉は食べない）

生水や氷、カットフルーツは食べるのを避ける

最も多い



厚生労働省サイト【FORTH】

○蚊やダニを介した感染症

【注意すべき病気】 マラリア、デング熱、リケッチア症、ライム病、日本脳炎等

【症状】 高熱、発疹、頭痛等

【予防方法】 虫よけ剤の使用

草むらややぐ等に入る場合は長袖・長ズボンを着用し肌の露出を避ける

○動物を介した感染症

【注意すべき病気】 狂犬病、エボラ出血熱等

【症状】 発熱、発疹、全身倦怠感等

【予防方法】 動物にむやみに近づかない、触らない

動物に触った後は、手洗いをしっかり行う

動物の排泄物が多い牧草地帯では、飲食物への管理を厳重にする

海外に行くとき

☑ 渡航先の流行状況をあらかじめ確認

☑ 予防接種歴を母子健康手帳等で確認

☑ ワクチン接種を検討（免疫ができるまでに数週間かかる場合もあるため、かかりつけ医に相談）

帰国した後

☑ 帰国時に体調が悪い場合には検疫所に相談

☑ 帰国後2週間程度は健康状態に注意（発熱、下痢、発疹、倦怠感等）

☑ 発熱等の症状が出現した場合は、**事前に電話**をし、**海外渡航歴があることを伝え**

医療機関を受診

《詳しくは厚生労働省のホームページをご覧ください》



これから海外へ渡航する場合は
こちらからサイトへ →



海外から帰ってきた場合は
こちらからサイトへ →



麻疹（はしか）は世界で流行しています

麻疹の**感染力は非常に強く**、免疫を持っていない人が感染すると**ほぼ100%発症する**と言われています。また、妊婦が麻疹に感染すると早産や流産を引き起こすことがあります。

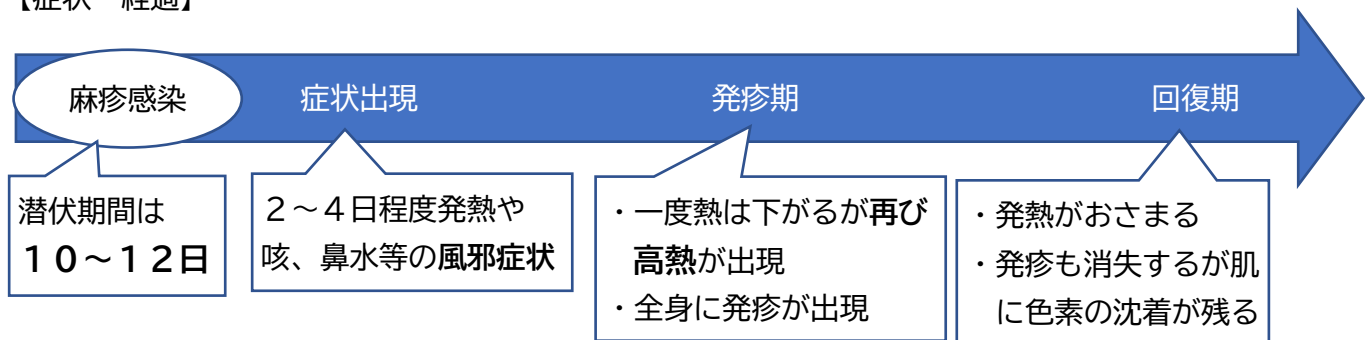
【感染経路は3種類】

- 「**空気感染**」：空気中を浮遊しているウイルスを吸い込むことで起こる
- 「**飛沫感染**」：咳などで出た飛沫を吸い込んだり、飛沫が目や鼻等の粘膜に付着したりすることで起こる
- 「**接触感染**」：ウイルスのついた物や食べ物を介して起こる



国立感染症研究所
【麻疹最新情報】

【症状・経過】



【予防対策】

手洗い、マスクのみでは予防できず、最も有効な予防方法は2回の予防接種

～麻疹風疹混合ワクチン定期予防接種(無料)の対象者～

- 第1期（1回目）：1歳から2歳未満まで
- 第2期（2回目）：小学校入学前の1年間



麻疹かも…と思ったら

医療機関に**事前に連絡**をし、医療機関の指示に従い受診してください。また、移動の際は可能な限り**公共交通機関の利用は避けて**ください。

また、厚生労働省のホームページから、麻疹の発生状況やワクチンについて、Q&Aなどを確認することができます。



厚生労働省HP
【麻疹について】

発行日：令和6年4月23日 発行：福島市保健所 感染症・疾病対策課 感染症対策係
住所：〒960-8002 福島県福島市森合町10-1 電話番号：024-572-3152